

科目	日本語 I	単位数	3	学年	1	学級	G選択者	学科	国際 教養科
----	-------	-----	---	----	---	----	------	----	-----------

学習の到達目標	日本語で授業を受けるに足る専門的な語彙、漢字を身につける。 友人との会話、目上の人との会話を適切に使い分ける。
使用教科書 副教材等	試験に強くなる！中上級学習者のための日本語読解ワークブック (株)アルク 新完全マスター文法 日本語能力試験N2 スリーエーネットワーク 新完全マスター文法 日本語能力試験 N1 スリーエーネットワーク 常用漢字クリア 尚文出版

学期	月	学習項目	学習内容の説明		
前 期	4	自己紹介	名前、出身、性格、趣味 原稿用紙の使い方 日本語の世界		
	5	2	漢字は好き？	日本の文化 日本人の行動様式	
		4	「ら抜き」言葉		
		7	言語と国民性		
		9	日本人のうなずき		
		10	日本人の歩き方の変化		
	6	11	会話の喪失	言語とコミュニケーション	
		13	シンボル	異文化理解 環境と人間	
		14	異文化コミュニケーション		
		7	17	生態系の危機	ITと情報社会
			19	もったいない	
9		20	人間の驕り	生物・自然	
		21	肌で感じる大切さ		
		22	情報社会の落とし穴		
	25	動物の涙			
後 期	10	スピーチコンテスト準備①	原稿作り		
		日本語能力試験対策	日本語能力試験N2対策問題演習(聴解・言語理解)		
		11	26 自然との共生を考える	生物・自然	
	12	27	青春とは	人生と生き方	
		30	誤報事件の裏幕	報道とマスコミ	
	1	33	想像力と科学	科学と技術	
		34	出生前診断	生命と倫理	
		2	35	脳死	生命と倫理
			スピーチコンテスト準備②	スピーチ発表練習	
		3	文集作り	プロフィールシート作り	
原稿作り					

評価の観点及び評価の方法	関心・意欲・態度	授業への出席状況。積極的に言語活動に参加しているか。
	表現の能力	身近な話題について、自分の意見や事実を口頭・文章で適切に表現できるか。
	理解の能力	身近な話題について、情報を聞いたり読んだりして、その内容を理解できるか。
	知識・理解	発音・文字・語彙・文法等の知識を身につけているか。また、出身国と日本との文化・慣習の共通点や相違点を理解しているか。
	評価方法	読む、聞く、書く、話す、文法知識、漢字の観点別に、定期考査、漢字テスト、文法テスト、提出物、授業中の取り組み、発表等を総合的に評価します。
担当教諭から	毎日予習・復習を行い、提出物は期限厳守で提出してください。 1年間でこの授業から卒業することを目標にして、積極的に勉強してください。	